

第3節 土 壤

かつては、富山県の神通川流域や群馬県の渡良瀬川流域で、鉱山や精練所からの重金属が原因となる農用地の土壤汚染が問題となりました。また、1960年代から1970年代には、水銀やカドミウム、六価クロムなどの重金属やポリ塩化ビフェニル（PCB）などの化学物質による公害が発生し、大きな社会問題となりました。2003年に土壤汚染対策法が施行されましたが、近年でも工場・事業場の自主的な土壤調査や、土地売却時の土壤調査、地下水のモニタリングなどにより、土壤汚染が発見されるケースが多くみられます。特に、金属部品の洗浄、ドライクリーニングなどに多く用いられてきた揮発性有機化合物（VOC）や重金属等による土壤や地下水の汚染が問題視されています。



1 土壤汚染の概要

『土壤汚染』とは？・・・ トリクロロエチレン（ドライクリーニングや、金属・機械の洗浄などに使用される物質）などの揮発性有機化合物、カドミウムや鉛などの重金属等、農薬等で土壤が汚染されることをいいます。土壤汚染対策法では、これらの物質（25 物質※）が特定有害物質に指定され、基準が設けられている他、環境基本法等では土壤の汚染に係る環境基準として各種有害物質の基準が設けられています。
（※平成 29 年 4 月からは 26 物質）

なにが原因なの？・・・ 揮発性有機化合物等の有害物質が不適切な取り扱いによって漏出したり、地下タンクや配管の損傷によって有害物質が地下へ漏えいしたことが土壤汚染の原因とされています。

どんな影響があるの？・・・ 人の健康への影響や、農作物や植物の生育阻害、生態系、地下水への影響が生じます。



人の健康への影響は、次のようなことで起こるポン。

- ・汚染された土壤に直接触れる
- ・汚染された土壤を砂ぼこりと一緒に吸い込む
- ・汚染された土壤から有害物質が溶け出した地下水を飲む

2 東広島市の土壤汚染の現状

土壤調査は、広島県がダイオキシン類について行っていますが、平成 27 年度に東広島市内では調査されていません。

3 土壌汚染の防止対策

土壌は、いったん汚染されると、その影響が長期にわたり、地下水汚染を引き起こすこともあります。また、農用地における土壌汚染は、農作物に対して影響を与えることがあります。

有害物質を使用・保管する工場などでは、有害物質の保管状況や、タンクや配管などからの漏れがないかを定期的に確認するなどして未然に汚染を防ぐことが、水質汚濁防止法で義務付けられています。農用地については、肥料や農薬を適正に使用する必要があります。

万が一、汚染が判明した場合には、土地所有者などが土壌の浄化や汚染土壌の封じ込めなど、状況に応じた改善措置を適切に行わなければなりません。

東広島市が行っていること

事業場への立入・・・ 水質汚濁防止法に基づき、有害物質を使用・保管している事業場へ立入検査を行い、施設の使用状況や構造、有害物質の保管状況等の確認をしています。（有害物質が地下に浸透するおそれがないかの確認のため）

事業者側の改善・・・ 構造基準への不適合や定期点検の未実施等があれば、市が改善を求め、事業者は改善すべき点について対応しなくてはなりません。

区域の指定・・・ 東広島市内における土壌汚染に関する業務は、現在、広島県が行っており、土壌汚染対策法や広島県生活環境の保全などに関する条例に基づいて土壌汚染対策を行っています。土壌汚染状況調査を実施した結果、基準に適合していなかった場合には、「要措置区域（健康被害が生ずるおそれがあるため、汚染の除去等の措置が必要な区域）」や「形質変更時要届出区域（健康被害が生ずるおそれがないため、汚染の除去等の措置が不要な区域）」に指定して公表します。

東広島市内の指定状況・・・ 平成29年2月1日現在で、東広島市内では次の場所が「形質変更時要届出区域」に指定されています（詳細は広島県のホームページに掲載されています）。

・ 西条町郷曾の一部（776 m²）



土壌汚染は気付かぬうちに発生して、広範囲に広がっていることがあるんだよ。土壌汚染が発生すると、土地の使用が制限されてしまったり、地下水汚染も引き起こすことがあるから、有害物質の使用や管理には日頃から気を付けないといけないポン。